

第35回『社会経済セミナー』開催のご案内

主催■市民セクター政策機構 共催■生活クラブ親生会

日時■2016年3月11日（金）
13時30分～16時45分

会場■全水道会館

- ・東京都文京区本郷 1-4-1 JR「水道橋駅」東口
下車2分
- ・都営地下鉄三田線「水道橋駅」A1出口1分
- ・電話：03-3816-4196



●企画Ⅰ. (13:30～)

「2015年国連総会における「持続可能な開発目標」採択の意義

◆話し手：古沢広祐（國學院大學教授）

国際協同組合同盟（ICA）は「持続可能な社会の形成」に向けて協同組合がどのように貢献しているのか評価する「指標」づくりを進めています。

その諮問委員会（サステナビリティ・アドバイザー・グループ）のメンバーとして日本からは生活クラブ連合会の加藤会長が選出され、約2年間、議論を続けてきました。9月にニューヨークで開催された国連総会では、「持続可能な開発目標（2030年までに達成すべき17の目標）」が採択され、その主体の一つとして「協同組合」が位置づけられるに至っています。

テロや戦争に覆われたかのように見える世界にあって、真逆とも言えるこうした一連の流れを共有します。

★季刊『社会運動』（421号 2016/1/15 発行予定） P.158～「国連総会が『持続可能な開発目標』を採択」参照。

●企画Ⅱ. (15:00～)

「全国に広がる『子ども食堂』」

◆話し手：「要町あさやけ子ども食堂（豊島区）」／「さんさん子ども食堂（世田谷区）」

今、子どもの6人に1人が貧困状態にあります。1日3食、食べることさえままならない子どもさえ大ぜいいると言われます。

そこでこの1～2年、東京を中心に全国各地（30ヶ所以上）で「子ども食堂」を運営するボランティア活動が広がっています。月や週に1～2回の開催ですが、子どもは無料、親（大人）は300円程度で晩ご飯を提供しています。

しかも、この活動の中心には多くの生活クラブ組合員、代理人、ワーカーズ・コレクティブが自主的に関わっており、今後、さらに各地に広がっていくことは確実で、その意義と実践を共有したいと考えます。

★季刊『社会運動』（421号 2016/1/15 発行） P85～「子ども食堂を作ろう！」参照。

※参加費：無料 事前にメールにてお知らせいただくと幸いです。ただし当日参加も可能です。

Eメール：civil@cpri.jp

お問い合わせ 市民セクター政策機構

東京都新宿区新宿 6-24-20-7F 電話：03-3205-3111 <http://www.cpri.jp>

